

つうしん
「うちどく」通信～2020.6〔筑南小学校 毎月7日はうちどくの日〕

うちどくとは家庭で読書を楽しみ、おうちの方とコミュニケーションをはかりましょうという取り組みです。

学年ごとに2名『本の名前』図書館の本のラベル・聞いてくれた人・感想を紹介しています。

【6/9 確認分】
全校 114/122(3)(1人免除)

提出者/人数(欠席) 提出者/人数(欠席)
1年 ☆GOOD☆ 4年 22/23(1人免除) ☆GOOD☆
2年 20/23(1) 5年 18/20(1)
3年 15/17(1) 6年 ☆GOOD☆



1年 H・A 『おかえし』 E お 聞いた人:A・お母さん

A:あちこちといったとこ、さいごはきつねとたぬきがいっしょにいちごつみをしておわっておもしろかったです。

お母さん:おかえしのおかえしのおかえしの……と続いていく展開にどこまでいくのかと思いつつ読んでいて相手を思いやる気持ちにほっこりさせられました。楽しく読ませてくれました。

1年 H・H 『どんぐりむらのぱんやさん』 E な 聞いた人:H

H:どんぐりのかぞくがおきなきのぱんをつくる場所がおもしろかったです。

お母さん:どんぐりのかぞくがちからを合わせて新しいパンを作って、仲良く家族思いのどんぐりさんですてきなと思いました。おいしそうなパンがたくさんできておもしろかったです。

2年 H・S 『おふろだいすき』 E ま 聞いた人:お母さん

S:くじらが入るくらいのお風呂にはいりたいなと思いました。ペンギンはかわいくてかめはおどろいたところがおもしろかったです。

お母さん:お風呂が大好きなまちゃんのお風呂にペンギンやカメ、オットセイ、カバなどたくさんの生き物達が入ってきてとても楽しそうなお風呂でした。こんな大きなお風呂に入れたら楽しいですね。

2年 T・Y 『スーホの白い馬』 E お 聞いた人:お母さん

Y:わるいおうさまがきらいでした。

お母さん:この本は私も小学校の時読んでいたので覚えて改めて読むと悲しいお話でした。白馬がスーホを大好きな気持ちが伝わってきました。子どもと悲しいねと言いながら最後まで読みました。

3年 T・M 『ゆうびんやさんおねがいね』 E ほ 聞いた人:お母さん

M:コブタくんがおばあちゃんにはぐをしたいためにいろいろな人にはぐをするとは思いませんでした。最後にキスまでもしてびっくりしました。

お母さん:コブタくんのおばあちゃんへ「ぎゅ〜っ」のはいたつをいろいろなゆうびんやさんの協力で遠くに住んでいるおばあちゃんにちゃんと届いておばあちゃんはもちろんうれしかったけど。間のゆうびんやさんたちもみんな幸せな気持ちになってとてもよかったです。

3年 H・K 『もってぞんねんないきもの事典』 48 サ 聞いた人:K・お母さん

K:フクロウは足が長いのに短足だと思われているところがあるって、フクロウが「きゅ」といったところがあったのを見てお母さんとばくしょうしました。

お母さん:知らなかった事がたくさんあって、驚いたり、笑ったり・楽しくみる事ができました。

4年 S・A 『いまわたしにできること』 おうちの本 聞いた人:お父さん

A:犬がいっぱいいるところに本読みをしようと思ったゆうきがすごいと思いました。

お父さん:保護施設の犬はいろんな事情があるし、そこに一人で行った勇気もすごいけど、そうして自分で何かしてあげたいと思う優しい心と行動力がすばらしいといいながら聞いていました。

4年 H・T 『オニのサラリーマンしゅっちゃんつらいよ』 E と 聞いた人:姉

T:おにがいずもに行って、神様サミットでお手伝いをするせつ定がよくできていると思いました。

姉:関西弁の本を読むという弟にとっては新しい体験だったと思います。私は神様と鬼は反対の存在だと思っていましたが、本の中ではすべての神様、鬼が仲良くしていたので読んでいて楽しかったです。

5年 H・K 『十二支のはじまり』 E い 聞いた人:Y・K

K:ぼくは牛として、本当は一番だけどねずみはちょうせこいことをしたからねずみはずるがしこいなと思いました。

お母さん:なぜ十二支ははじまったのか、どのようにして順番が決まったのか改めて知る事ができました。

5年 M・Y 『ペットになりたいねずみ』 E ち 聞いた人:お母さん

Y:ねずみがペットになることができよかったです。でも、わたしがねずみだったらペットにならずに一人で自由に生きてみたいと思いました。

お母さん:ペットになりたいと思いつつ続けた「ネズミ」願いは叶ったけど、「ねこ」として飼い主と暮らしていくことになった。ネズミくんにとってペット生活は、安心して暮らせる居心地のよい生活なんだなと思いました。

6年 H・K 『わるいわるい王さまとふしぎな木』 E あ 聞いた人:おばあちゃん

K:最初はわるいわるい王さまで、おじいさんからたねをもらい大きくなるのを王さまは楽しみにしていたけどぜんぜん大きくなって、首をはねるぞと言っても木は大きくなるのでおもしろかったです。最後は木が大きくなってから優しくなり、旅人にもやさしい王さまになりました。

おばあちゃん:わがままな王さまが1本の大きな木のおかげで心が優しくなっていく様子がよく書けています。

6年 M・S 『うちにかえったガラゴ』 E し 聞いた人:お母さん

S:ガラゴの知り合いがたくさんいてすごいなと思いました。その知り合いが全員おもしろかったです。

お母さん:ガラゴと友だちのやりとりがおもしろかったです。